

DX戦略及び施策の推進

Digital Impact 株式会社

2023年11月

- 01.** デジタル技術による社会や自社の競争環境への影響
- 02.** KGI/KPIに係る達成状況
- 03.** CDO人材の設置及びDX人材の育成
- 04.** システムアーキテクチャの整備
- 05.** パートナー企業とのコンサルティングサービスの高度化

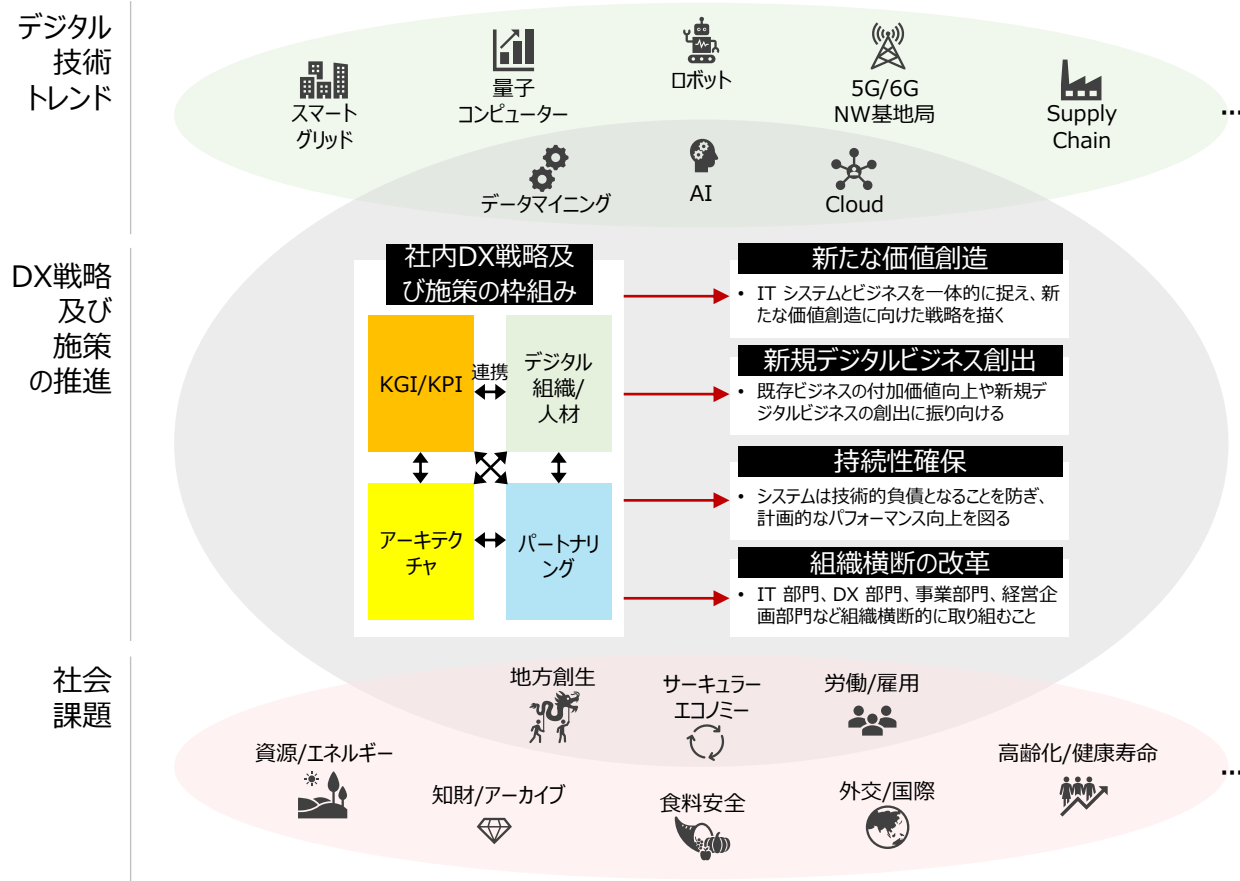
01.

デジタル技術による 社会や自社の競争環境への影響

デジタル技術による社会や自社の競争環境への影響

デジタル技術の進化や社会課題の出現が、企業に対してビジネスモデルの変革を突き付けている。時代変化の中で、持続的な企業価値の向上を図るため、デジタルトランスフォーメーションに取り組み、ミッション及びビジネスモデルを磨きこまなければならない

社会トレンド及び社内DXのあるべき姿



Digital Impactのミッション及びビジネスモデル



ミッションを「枠にとらわれず、無限大の価値を創出する」として定義する

- コンサルティング、プロフェッショナル人材紹介、エンジニアリング、IT製品、アウトソーシング、事業投資のビジネスモデルでお客様の成長を実現

(参考)対話/生成AIの出現による社会や自社の競争環境への影響

対話/生成AIの普及により会社やビジネスは大きく変わってゆく。対話/生成AIはルーティンワークをこなし、人間は人ならではの業務により多くの時間を割く

対話/生成AIが行う業務

- 決まりきったルーチンワークの傾向
- AIが担うことで迅速・正確性が向上し、処理量も増加

例

- 問い合わせ対応
- 事務作業

人間が行う業務

- 人間ならではの業務により多くの時間を割ける
- 業務の質と対応力が向上

例

- 新規事業
- 顧客対応、倫理的業務

02.

社内DXのKGI/KPIに係る達成状況

社内DXのKGI/KPIに係る達成状況

社内DXシステムの推進に向けて、“一元化率”・“情報管理網羅率”・“ロケーションアクセスフリー”は100%で準拠しており、社内DX戦略に係る定量的目標値を達成



社内DXシステムの一元管理率100%

全てのデータを一元化、かつリアルタイムに共有

- ホームページ、マッチングサイト、顧客管理システム、分析システム、マーケティングシステム、営業支援システムのいずれも一元管理
- いずれもリアルタイムにシステムで参照できるだけでなく、CSVファイルに落とし込み、更に精緻な解析やクロス分析等をデータ活用可能



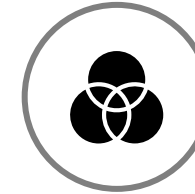
社内DXシステムの情報管理網羅率100%

情報管理方法を見直し、最適化

- 個人情報保護法、規制等を考慮した施策を推進

情報セキュリティ対策支援サイトにて、SECURITY ACTION制度に基づき二つ星の自己宣言を実施

- 2023年10月より本取り組みを推進



社内DXシステムのアクセスロケーションフリー100%

一元管理した情報へのアクセスのロケーションフリーを達成

- モバイル端末、PC端末等、端末に限定しない取り組みを推進
- セキュリティが整備された場所(家、事務所等)に限定して、リモートの取り組みを推進

03.

CDO人材の設置及びDX人材の育成

CDO組織/人材の設置

CDO(チーフ・データ・オフィサー)の役割として、以下を定義

CDOの職務

CDO

- データを組織的アセットとして管理
- データの質、整合性、信頼性を管理
- データガバナンスを主導
- データアナリティクスを主導

CDOの役割

データの探索、収集、 保管の監督

- 経営が決定した事業戦略の詳細を理解し、それをデータニーズに転換。また、社内外に点在するデータのうち、自社に必要なデータを探索・収集し、使用およびアクセス可能な形に体系化して保管。加えて、データカタログの作成および改訂など適切な範囲で見える化を行うなどの業務を監督

データガバナンスの方針設定、 仕組みの構築および監督

- 目的に照らしたデータ収集の妥当性の検証、データの保管場所・形態、データアクセス権の付与、データ提供先の妥当性、データ提供の質・形態・方法についての全社の方針を設定して監督

データアナリティクスのインフラ整備 とデータ分析に基づく意思決定文 化の醸成

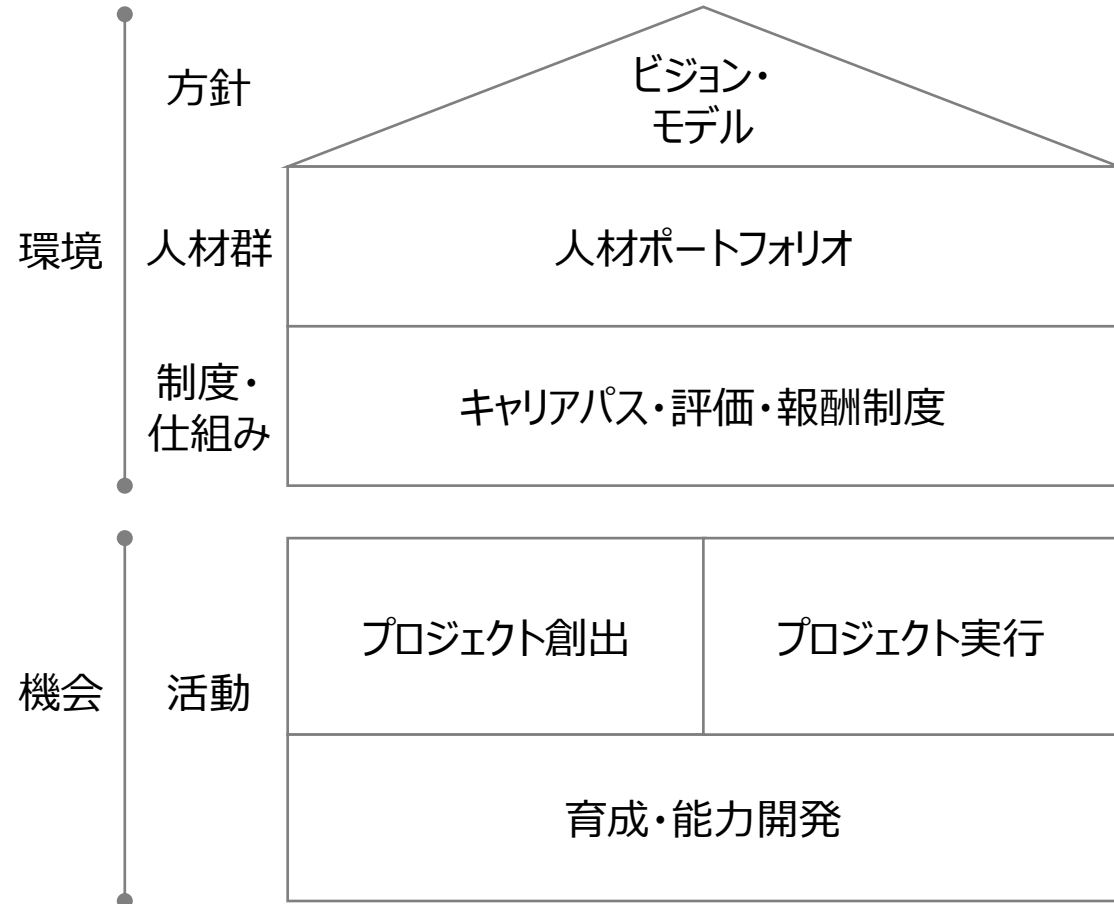
- 社内のデータアナリティクスのケイパビリティを高める取り組みを主導し、データを収集し、分析することで生産性を向上させるといった意思決定を支援

データ提供の統制

- データまたはデータを分析・加工したインサイトをデータプライバシーおよびセキュリティを維持しながら提供、または販売するプロセスを統制

デジタル組織におけるタレントマネジメントの基本的考え方

タレントマネジメントの基本構成要素



デジタルスペシャリスト組織/人材における主な論点

- 専門職人材に対して組織が提示する人材ビジョンが明確か？
- 目指すべき人材モデルが定義されているか？
- 目指す人材の種類・階級の構成は定義されているか？
- 目指すポートフォリオに対して、実現方法と採用等の具体的計画は明確か？
- 専門職人材に適合したキャリアパス等の制度が整備されているか？
- 制度が適切に適用され、不条理な格差が生じていないか？
- 人材が活躍して成長できる機会が提供できているか？
- プロジェクト活動を公正に評価して、成長に貢献できる仕組みがあるか？
- 専門人材に求められるスキル・経験が定義されているか？
- スキル・経験を育成・開発する有効な方法・環境があるか？

教育 研修

デジタル人材育成の教育研修

- 従業員5名には月次でスキルアップ研修会を開催
- プロジェクト参画時には都度DXに係るプロジェクトの中身を相談
- パートナーの2社にはプロジェクトの切れ目ごとに情報セキュリティチェック、案件情報の共有等を図っている

04.

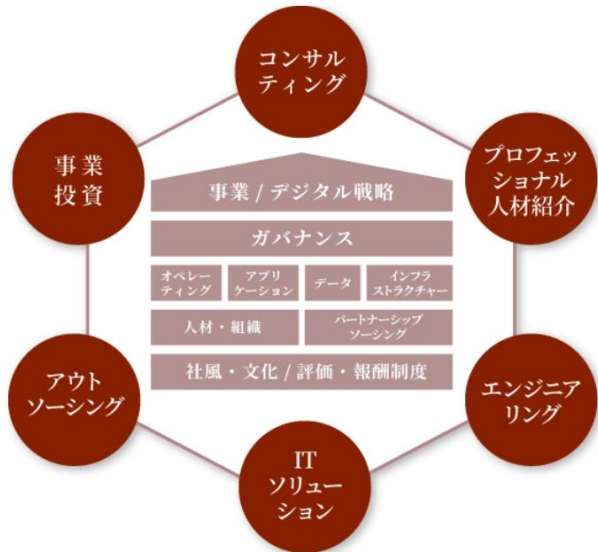
企業経営の方向性及び 情報処理技術の活用の方向性

企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性

Business Modelの実現に向けてIT環境を整備。HP、マッチングサイト、顧客管理、マーケティング、営業支援系、分析を導入

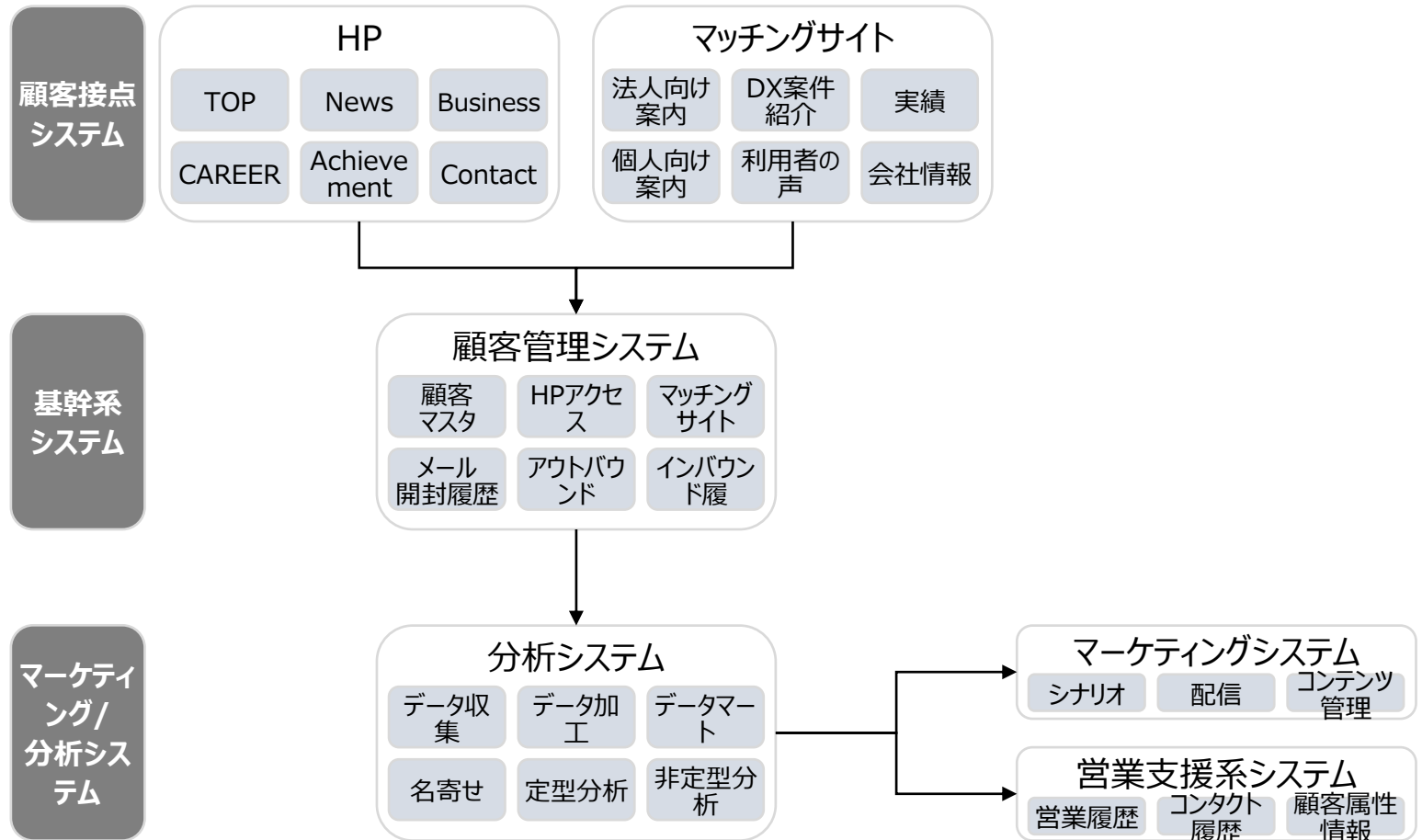
Business Model

コンサルを起点として、様々な事業が有機的に連携



システムアーキテクチャ

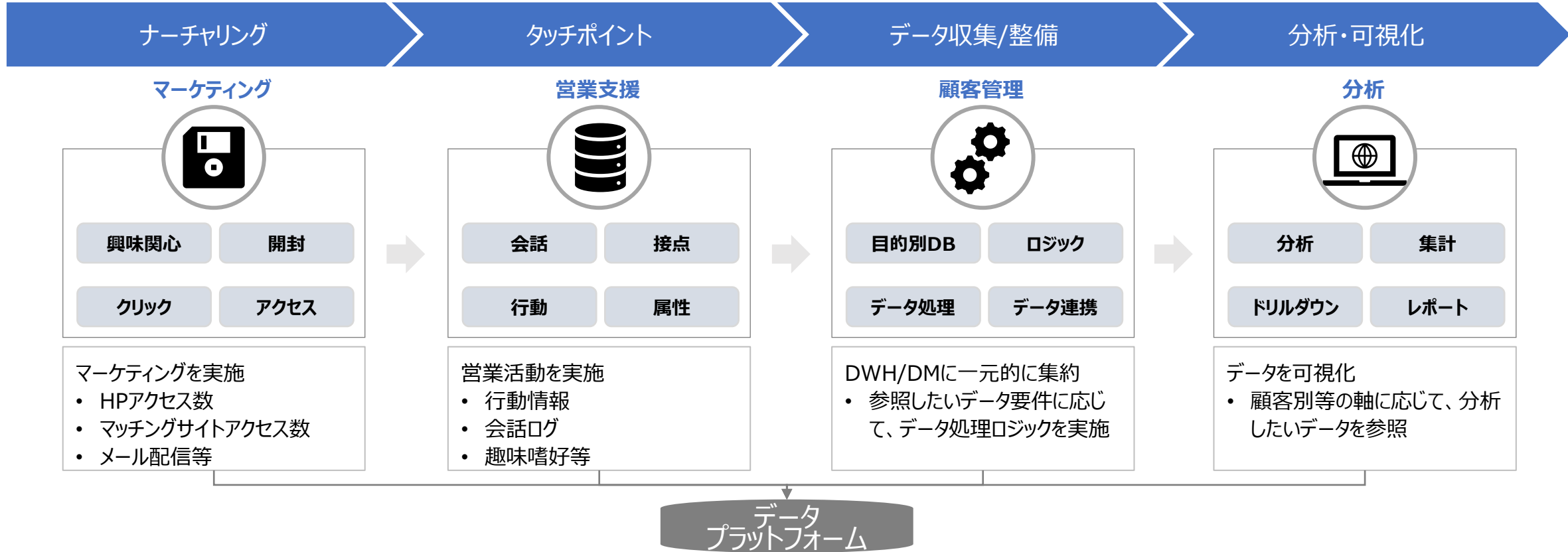
顧客接点、基幹系、マーケティング/分析システム多岐に渡るシステムを導入して、管理を推進



データを起点としたシステム整備及び機能強化の取組み

データを基軸として、マーケティング、営業支援、顧客管理、分析システムを導入。更なる機能強化を図り、システム改修を実施

システム
整備



システム
機能
改修

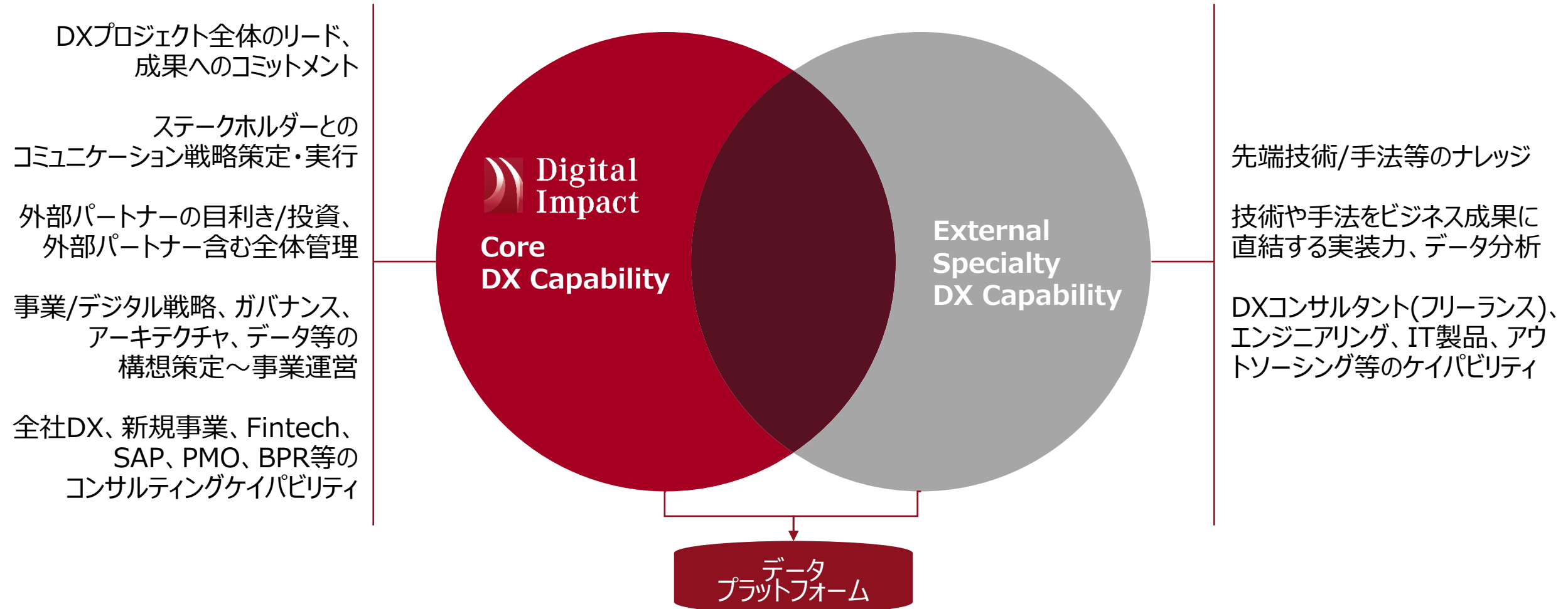
One to Oneマーケティング	<ul style="list-style-type: none"> 顧客情報をキーとして、HP及びマッチングサイトからの流入顧客によるマーケティング施策のOne to Oneの実現
BIダッシュボード高度化	<ul style="list-style-type: none"> BIダッシュボードの高度化により、HP業界×企業規模、企業規模×役職等のクロス分析

05.

データを活用したパートナーとのコンサル ティングサービスの高度化

データを活用したパートナーとのコンサルティングサービスの高度化

パートナー企業とデータを流通して、各企業が抱える課題の更なる深堀を実施。クライアント企業に提供するコンサルティングサービスとして、幅広いコンサルティングサービスのみならず特定技術に特化した先進的なコンサルティングサービスの提供が可能





Digital
Impact

